# 10［評論］　『弱者の居場所がない社会』

［１］　従来の貧困の概念と社会的排除の概念が異なるのは、後者が、金銭的・物質的な欠乏から人間関係の欠乏に視野を広げたということだけではない。社会的排除が、貧困と異なるいちばん大きな点は、貧困は「低い生活水準であるという状態」を示す概念であるのに対し、社会的排除は「低い生活水準にされた状態」を示すという点である。すなわち、「排除」という言葉から連想されるように、社会的排除は、誰か、または何かが、誰かに対して行う行為である。排除される側と排除する側があるのである。

［２］　従来の貧困の考え方は、市場経済の営みそのものはａ不問としたうえで、その中で発生する貧困問題は「自然の成り行き」と理解し、貧困は、その貧困の当事者側の問題であると理解するものであった。すなわち、悪いのはその人の学歴が低いから、離婚したから、結婚しないから、単身世帯だから、ｂショウガイを抱えているから、小さな子どもがいるから……など、その人に起因する理由がもとでｃコンキュウが発生していると考えるのである。孤立や社会サポートの欠如についても同様である。孤立してしまった人やサポートのない人が、そのような状況になったのは、その人の家族が悪いからだ、その人の性格に問題があるからだ……と、あくまでも問題の所在はその人と理解する。①そこには、いつも、「自己責任だから」という暗黙の了解が流れている。

［３］　これに対して、社会的排除は、問題が社会の側にあると理解する概念である。社会のどのような仕組みが、②孤立した人を生み出したのか、制度やコミュニティがどのようにして個人を排除しているのか。社会的排除に対する第一の政策は、「排除しないようにすること」なのである。［　Ａ　］、なぜ、単身世帯であることが、社会的孤立につながるのか。なぜ、同居の家族以外の社会サポートが築きにくいのか。それは、社会の側から、手を差し伸べることをしていないからではないか。その人が、人とつながり合うことをｄ躊躇してしまうような要因を、社会の側が作っていないか。社会の仕組みが、人々をより孤立へ、排除へ、貧困へ、追い込んでいるのではないだろうか。ｅイトせずとも、社会の仕組みや制度が、人を排除に仕向けているのではないか。社会的排除の概念は、社会のありようを疑問視しているのである。これは、③大きな発想の転換である。

［４］　そして、近年、社会のありようとして、大きく問われているのが「格差」である。この格差論に火をつけたのは、イギリスのノッティンガム大学医学部の社会疫学者であるリチャード・ウィルキンソン教授（現・名誉教授）である。ウィルキンソンの指摘が衝撃的であるのは、「格差」が大きい社会に住むことは、誰にとっても悪影響を及ぼしていると論じている点である。彼は、「格差」が大きいことが、「格差」の底辺の人、［　Ｂ　］貧困や社会的排除の状態にある人々が多いことを意味するから問題であると言っているのではない。「格差」が大きいということ、そのこと自体が、社会にとって望ましくないという指摘をしているのである。

●語　注

リチャード・ウィルキンソン＝一九四三年〜。経済学者から公衆衛生学者に転じ、「不平等はなぜ不健康を生むか」を追究してきた。二〇〇八年までノッティンガム大学で教鞭をとる。著作『格差社会の衝撃』（二〇〇八年）で、格差社会では相対的不平等がもたらすストレスによって、貧しい者も富める者も共に健康を害することを論証した。

■覚えておきたい語句

□１概念……………………物事の概括的な意味内容。

□９起因……………………物事の起こる原因となること。

□12暗黙の了解……………口に出して言わなくても、皆が了承しているさま。

□14コミュニティ…………一定の地域に居住し、共同体意識を持つ人々の集団。

□17躊躇……………………決心がつかず、ぐずぐずすること。ためらうこと。

◆漢字

　本文中の二重傍線部ａ〜ｅのカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで記せ。

ａ［　　　］ｂ［　　　］

ｃ［　　　］ｄ［　　　］

ｅ［　　　］

問１　空欄Ａ・Ｂに入る言葉をそれぞれ次から選べ。3点×2

ア　しかし　　　イ　そして　　ウ　たとえば

エ　すなわち　　オ　または

Ａ［　　　］Ｂ［　　　］

問２　傍線部①の内容を本文中から一〇字以内で抜き出せ。5点

　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問３　傍線部②を言い換えている言葉を１段落中から抜き出せ。5点

　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問４　傍線部③とは、何についての、どのような考え方への「転換」か。本文中の語句を用いて説明せよ。【読みのセオリー】　15点

　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問５　二重傍線部とあるが、その理由としてあてはまらないものを次から一つ選べ。５点

ア　富裕層への憎悪や嫉妬により、犯罪が増えるから。

イ　治安が悪化し、警察などの社会負担が増えるから。

ウ　生活保護受給者が増えて、社会負担が増えるから。

エ　財産や命を守ろうとし、経済的負担が大きくなるから。

オ　出生率が下がり、人口減少がいっそう進むから。

　　〔　　　〕

問６　１〜４段落の関係として最も適当なものを次から選べ。４点

ア　［１］で述べたことの理由や根拠を［２］［３］［４］で述べている。

イ　［１］［２］［３］述べたことを理由や根拠にして［４］でまとめている。

ウ　［１］［２］で述べたことと関連する新たなことを［３］［４］で述べている。

エ　［１］で述べたことを［２］［３］で詳しく説明し、［４］は関連する話題に転換している。

オ　［１］で述べたことを［２］［３］で詳しく説明し、［１］と反対のことを［４］で述べている。

　　〔　　　〕

問７　筆者の考え方に合致するものを次から二つ選べ。5点×2

ア　社会サポートを手厚くしても、それを利用しない人がいるのは問題である。

イ　従来どおり、貧困は当事者に起因する問題であると認識するのが適切だ。

ウ　格差が大きい社会が、誰にとっても悪影響があるというのは衝撃的事実だ。

エ　貧困は当事者の努力が足りないからであって、社会が負う問題ではない。

オ　社会的排除という概念のように、社会的な仕組みに問題点を探る方向が必要だ。

　　〔　　　〕〔　　　〕

【解答】

漢字　ａふもん　ｂ障害　ｃ困窮　ｄちゅうちょ　ｅ意図

問１　Ａ＝ウ　Ｂ＝エ

問２　従来の貧困の考え方（９字）別解＝従来の貧困の概念（８字）

問３　人間関係の欠乏

問４　Ａ貧困という問題について、そのＢ当事者側の問題であるという考え方から、Ｃ社会的な仕組みや制度がそういった状況へ追い込んでいるという社会側に問題を求める考え方へのＤ転換。

（Ａ＝２点、Ｂ＝５点（「自己責任」でも可）、Ｃ＝６点、Ｄ＝２点。）

問５　オ

問６　エ

問７　ウ・オ

【読みのセオリー】

★記述問題（内容説明）の解き方のポイント

　内容説明問題は、傍線部の語句と、傍線部やその一文に指示語がある場合は、その指示内容をはっきりさせてから解答する。

　問４「これは大きな発想の転換である」の「これ」の指示内容をまず確認し、次に「転換」に注目してみると、何から何へ、と答えなくてはならないことがわかる。

〔要　約〕

　２段落「従来の貧困の概念」と３段落「社会的排除」の違いをきちんと整理して述べる。4段落の「格差」についても、少し入れ込みたい。

　　　　　↓

　従来の貧困の概念では、その原因を自己責任ととらえていたが、社会的排除という概念では、社会の側の問題としてとらえるようになった。また、格差が大きい社会は、誰にとっても悪影響を及ぼし、望ましくないのだ。（99字）

〈筆者＆出典〉阿部　彩（あべ・あや）マサチューセッツ工科大学卒業。タフツ大学修士・博士。国際連合、海外経済協力基金などを経て、現在、首都大学東京人文社会学部教授。著作は『子どもの貧困』『子どもの貧困Ⅱ』など。「貧困」の連鎖、「格差」社会がすべての人に悪影響を与えることなどについて問題提起し続けている。本文は、『弱者の居場所がない社会―貧困・格差と社会的包摂』（講談社現代新書、二〇一一年）より。

☆「セオラム　補充問題」問題は次の３種類があります。

　＊差し替え　　　……　当該の問と差し替えるもの

　＊追加　　　　　……　同じ問いで追加された問題

　＊新問　　　　　……　追加が可能な新たな問題

差し替え

問２　６行目「従来の貧困の考え方」にあてはまらないものを次から一つ選べ。

ア　貧困の問題は、あくまで貧困の当事者側の問題である。

イ　学歴が低かったり、離婚したりと貧困の原因を作っているのは本人だ。

ウ　市場経済の動きがあるから、貧困者が発生しても仕方がない。

エ　社会的サポートを受けようとしない人は貧困状態でも仕方ない。

オ　孤立する人は、その人の性格に問題があるに違いない。

答　ウ

新問　空欄に当てはまる言葉を４文字で答えなさい。（12行目「自己責任」を空欄にする。）

答　自己責任

差し替え

問７　筆者の考え方に合致するものを次から一つ選べ。

ア　貧困の原因は当事者に責任があると考えるのが適当だ。

イ　貧困の原因を社会的仕組みに探ることが必要である。

ウ　市場経済の営みの結果として格差が大きくなるのは当然だ。

エ　孤立するのは、その人の性格や経歴の問題である。

オ　格差が大きいと誰にとっても悪影響を及ぼしているとは驚きである。

答　オ